

令和6年度第2回 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

日 時	令和7年2月19日（水） 14：00～15：30
場 所	盛岡市役所本庁舎別館403

1 開 会

2 議 事

- (1) 第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括（中間案）について
- (2) 次期総合戦略について

3 報 告

- (1) 盛岡市人口ビジョンの改定について
(資料1 盛岡市人口ビジョン（令和7（2025）年 3月）（案））

4 閉 会

<委員名簿>（五十音順，敬称略）

	氏 名	所属・役職等	備 考（分野）
1	柏崎 亮太	一般公募	市民
2	川上 冴華	川上塗装工業株式会社 専務取締役	産業（建設）
3	菊地 類	株式会社ブイキューブ VCP事業推進室室長兼営業本部副本部長	産業（IT）
4	熊谷 宏彰	株式会社岩手日報社 編集局次長	言論
5	小苺米 希実	農事組合法人となん	産業 （農業・6次産業化）
6	佐々木 健二	盛岡市肴町商店街振興組合 理事長	産業（商業）
7	佐々木 祐子	盛岡商工会議所 女性会会長（副座長）	産業（商工）
8	柴田 義孝	岩手県立大学 名誉教授 研究・地域連携本部 特命教授（座長）	学術 （地方創生・DX）
9	鈴木 崇之	株式会社F L U X	産業（DX）
10	鈴木 拓	岩手県北自動車(株) 代表取締役社長	産業 （運輸・観光）
11	田村 優子	公益財団法人さんりく基金	産業 （観光・まちづくり）
12	藤原 学	(株)岩手銀行 執行役員 本店営業部長	金融
13	水野 節郎	株式会社イーアールアイ 代表取締役	産業 （製造業・IT）
14	谷中 充	岩手労働局 雇用環境・均等室長	行政（労働）
15	渡部 あさみ	岩手大学人文社会学部 准教授	学術（労働）

<事務局名簿（盛岡市）>

	氏名	所属・役職等
1	白石 雄太	市民部長
2	横田 信之	交流推進部次長
3	加藤 彩子	保健福祉部長
4	佐久山 久美子	子ども未来部長
5	曾根田 雅彦	商工労働部次長
6	富樫 正幸	農林部次長
7	藤澤 正博	建設部次長
8	下田 眞備	都市整備部参事兼建築指導課長
9	鈴木 茂也	教育次長
10	藤澤 法輝	市長公室長
11	中嶋 孝樹	市長公室次長
12	佐々木 潤也	市長公室 企画調整課長
13	牧野 英恵	市長公室 企画調整課主幹
14	佐藤 雄一	市長公室企画調整課副主幹兼 計画経営係長
15	平山 久枝	市長公室 都市戦略室長
16	泉川 裕一	市長公室 都市戦略室副主幹
17	田山 路子	市長公室 都市戦略室主査
18	勝又 洸樹	市長公室 都市戦略室主任
19	宮崎 俊	市長公室 都市戦略室主任

【協議のポイント】

1 議事（1）第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括（中間案）について

- … 各基本目標の「今後の取組の方向性」に関する意見
- … 全般的な意見 等

2 議事（2）次期総合戦略について

- … 市の今後の人口対策に関する意見 等
- … 全般的な意見 等

議事（1）第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について（中間案）

1 趣旨

現行の「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」の第2期総合戦略が令和6年度で計画期間を終えることから、達成状況を検証し、その内容を今後の地方創生・人口対策の取組に生かしていこうとするものである。（計画期間終了前のため、今回は令和5年度までの状況を踏まえた中間案とし、令和6年度終了後に改めて評価を行うものとする。）

2 現行の総合戦略の概要

（1）基本方針

「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」

第1期総合戦略では、長期的に人口を安定させるため、出生数維持・増加に向けてた取組を行い、子育て負担の軽減については、待機児童数ゼロを達成するなど成果を上げたところである。

一方で、自然動態・社会動態とも減少傾向が継続していることから、第2期総合戦略では、基本目標を「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」と定め、人口ビジョンを踏まえながら、若者や女性の仕事に関する願いに応えるとともに、都市の魅力を創出することにより、若者の地元定着や東京圏等からの移住・定住を促進することで、出生数の減少と転出超過を抑制する好循環を目指すこととしている。

（2）計画期間

令和2年度～令和6年度

（3）基本目標と9つの戦略

基本目標1 若者・女性をひきつけるしごと創造

- 戦略1 多様な仕事の創出
- 戦略2 仕事の魅力の向上
- 戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進
- 戦略4 地域経済を担う人材の育成・確保

基本目標2 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

- 戦略5 結婚の希望に応える支援
- 戦略6 安心して子どもを産み育てられる環境整備

基本目標3 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上

- 戦略7 関係人口・交流人口の増加
- 戦略8 地元への愛着の形成、移住・定住の促進
- 戦略9 都市機能の強化

3 成果と課題、今後の取組の方向性

（1）成果と課題

【成果】

基本目標の達成に向け各戦略で設定しているK P Iについて、取組の効果が着実に表れ、戦略の推進に寄与しているものもある。

- ・新規就農者数の増加
- ・若年層の仕事・就職相談拠点であるジョブカフェいわての利用者数が好調
- ・保育所待機児童数0人を数年連続で達成
- ・宿泊観光客数や移住相談件数等が増加・回復傾向 等

【課題】

基本目標の達成度を示す数値目標については、K P Iの達成状況が良好な戦略があっても、必ずしも数値目標の達成にまで至っていない状況にある。

- ・大学生の県内就職内定率が3割台に低下し、県外就職の動きが加速
- ・婚姻率や出生数、合計特殊出生率の低下による急激な少子化が全国同様に本市でも進行し、自然減が拡大
- ・20歳から39歳までの人口移動数については、コロナ禍前よりも転出超過が拡大し社会減が進行

（2）今後の取組の方向性

令和2（2020）年の国勢調査における本市の実人口は、国立社会保障人口問題研究所（以下「社人研」という。）が平成25（2013）年に行った推計値の287,606人よりも2,125人上回る、289,731人となり、特に0歳～14歳の若年人口が改善していることから、平成27（2015）年度から継続してきた人口対策の取組により、一定の成果が出ているといえる。

今後も地域の担い手確保のため、若者や女性にも選ばれるまちづくりの取組の重要性が増しており、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、引き続き社会減・自然減対策を両輪として一体となって進めるほか、人口減少下でも維持発展できる持続可能なまちづくりも進めていく必要がある。

2020年の実人口と2013年時点の推計値	総計	0-14歳	15-64歳	65歳以上	年齢不詳
①R2（2020年）の実人口	289,731	33,602	167,894	80,035	8,200
②H25（2013年）の社人研推計値	287,606	32,724	173,619	81,263	
差（①-②）	2,125	878	-5,725	-1,228	8,200

基本目標 1 若者・女性をひきつけるしごと創造

- 戦略 1 多様な仕事の創出
- 戦略 2 仕事の魅力の向上
- 戦略 3 ワーク・ライフ・バランスの推進
- 戦略 4 地域経済を担う人材の育成・確保

数値目標の達成状況				K P I の達成状況			
◎	○	△	×	◎	○	△	×
0	2	0	2	2	2	1	2

◎…「目標値に到達」最新値が目標値に達しているもの ○…「順調に推移」目標値に向けて最新値が推移改善しているもの（目標値達成率8割以上）
△…「停滞」目標値に対して最新値に遅れが生じているもの ×…「後退」最新値が基準値よりも減少しているもの

項目	指標名	単位	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	目標値 (R6)	評価 (暫定)
数値目標	盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	67.6	68.4	70.0	70.2	68.2	70.0	○
	大学卒業生の地元就職率	%	44.0	46.0	44.9	41.0	39.1	55.0	×
	盛岡公共職業安定所管内の就職率 (新規学卒者を除く。)	%	38.3	33.2	34.1	33.8	33.4	42.5	×
	盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,426	8,407	8,436	8,435	8,457	8,700	○
KPI(戦略1)	市インキュベーション施設の稼働率	%	85.2	63.0	90.0	81.5	83.3	88.8	×
KPI(戦略2)	卸・小売の年間販売額	億円	12,664	—	11,779	—	—	11,800	×
	1企業あたりの商業サービス業の企業売上高	千円	199,022	—	213,826	—	—	185,175	◎
	製造品出荷額等	千万円	11,962	12,554	11,041	11,598	12,271	12,288	○
	新規就農者数(累計)	人	150	186	201	210	236	211	◎
	農業総生産額	百万円	9,459	8,965	9,779	9,910	9,642	10,025	○
KPI(戦略3)	ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	89	61	52	66	103	197	△
KPI(戦略4)	ジョブカフェいわての利用者数	人	51,501	73,207	76,051	97,444	100,307	55,000	◎

【評価（数値目標・K P I）】

【今後の取組の方向性】

■【数値目標】 高校生の県内就職率は目標値の70%前後を維持しているが、大学生の県内就職内定率は年々減少し3割台に低下している。県外就職の動きが加速傾向にあり、本市の若年層の社会減の大きな要因となっている。

■【K P I】 「ジョブカフェいわて（県設置）」において、市事業としてカウンセラーを配置し若者の就業支援を連携して行った。利用者は目標を大きく上回っており、若年層の就労に関する相談の拠点として十分に認知されている。「新規就農者数」については、国の対策に加え、市単独の「親元就農給付金事業」や「農業経営改善支援員」による伴走型の相談業務により、目標値を超えた。

■人口の社会増減には、地域の雇用環境が強く関わっている。職種や待遇を理由に、他県での就職を選択せざるを得ない状況もある中、若年層への地元企業の認知度向上や魅力発信の取組のほか、意欲ある起業家や事業者が成長できる環境づくり、労働生産性が高い成長分野の企業誘致や産業集積、新規就農者等支援に引き続き取り組む。また、デジタルを活用した生産性向上や働き方改革、地域資源を最大限活用した高付加価値型の産業・事業の創出、共働き共育ての推進、仕事と生活の両立等誰もが働きやすい職場環境づくりなどにより、企業の魅力と雇用の質を高め、若者や女性にも選ばれる魅力ある働き方・職場づくりを進める必要があ

【掲載事業（R6）】

戦略	番号	事業名	担当課等
戦略1	1-1-1	創業支援事業【◎】	ものづくり推進課
戦略1	1-1-2	盛岡市産学共同研究事業補助金【◎】	ものづくり推進課
戦略1	1-1-3	市インキュベーション施設の管理運営事業【◎】	ものづくり推進課
戦略1	1-1-4	女性の起業・就労支援事業	男女共同参画推進室
戦略1	1-1-5	成長分野拠点形成支援事業	ものづくり推進課
戦略1	1-1-6	新産業等用地整備事業	新産業拠点形成推進事務局
戦略1	1-1-7	道の駅設置事業【◇】	道の駅整備推進室
戦略1	1-1-8	工場新設拡充等事業	ものづくり推進課
戦略1	1-1-9	盛岡広域企業誘致推進事業【◎】	ものづくり推進課
戦略1	1-1-10	国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダー推進事務局
戦略1	1-1-11	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業【◇】	ものづくり推進課
戦略1	1-1-12	盛岡南地区物流拠点整備事業	新産業拠点形成推進事務局
戦略1	1-1-13	盛岡スタートアップ成長加速支援事業（地域企業成長加速支援事業）	ものづくり推進課
戦略1	1-1-14	若者に魅力ある産業集積を目指した「理工系人材の雇用の場創出事業」	ものづくり推進課
戦略1	1-1-15	（仮称）盛岡市・岩手大学提携講義	ものづくり推進課
戦略1	1-1-16	（仮称）ふるさと起業家支援事業	ものづくり推進課
戦略1	1-1-17	新規事業創出による地域課題解決プロジェクト	経済企画課
戦略2	1-2-1	新規就農支援事業	農政課
戦略2	1-2-2	木材需要拡大推進事業	林政課
戦略2	1-2-3	食と農のバリューアップ推進事業	食と農の連携推進室
戦略2	1-2-4	商店街等魅力強化支援事業	経済企画課
戦略2	1-2-5	森林経営管理事業【◇】	林政課

戦略	番号	事業名	担当課等
戦略2	1-2-6	森林適正管理推進事業	林政課
戦略2	1-2-7	中小企業事業承継支援事業【◇】	経済企画課、ものづくり推進課
戦略2	1-2-8	中小企業生産性向上支援事業	経済企画課、ものづくり推進課
戦略2	1-2-9	中小企業支援に係る金融機関との協定の締結	経済企画課
戦略2	1-2-10	伝統産業振興事業	ものづくり推進課
戦略2	1-2-11	介護の仕事魅力発信事業	介護保険課
戦略2	1-2-12	盛岡市介護職員奨学金返還支援事業	介護保険課
戦略3		【～R5まで事業】 魅力ある職場づくり推進事業	経済企画課
戦略3	検討	外部人材の活用による中小企業の課題解決支援事業【◇】	経済企画課
戦略4	1-4-1	高校生等地元就職フォローアップ事業【◎】	経済企画課
戦略4	1-4-2	若年者雇用対策事業【◎】	経済企画課
戦略4	1-4-3	ものづくり人材育成事業【◎】	ものづくり推進課
戦略4	1-4-4	盛岡テクノミュージアム設置事業	ものづくり推進課
戦略4	1-4-5	移住・就労マッチング支援事業【◇】	都市戦略室
戦略4	1-4-6	中小企業人材育成支援事業	経済企画課
戦略4	1-4-7	多様な人材が活躍できる職場づくりの推進に向けた事業者への啓発と支援事業	男女共同参画推進室
戦略4	1-4-8	林業労働対策事業	林政課
戦略4	1-4-9	女性の起業・就労支援事業（再掲）	男女共同参画推進室
戦略4	1-4-10	働く場における女性の活躍推進事業	男女共同参画推進室
戦略4	1-4-11	木育推進事業	林政課
戦略4	検討	多様な主体の活躍の推進に関する調査研究	都市戦略室

＜凡例＞

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業 ○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

基本目標2 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

- 戦略5 結婚の希望に応える支援
- 戦略6 安心して子どもを産み育てられる環境整備

数値目標の達成状況				K P I の達成状況			
◎	○	△	×	◎	○	△	×
0	0	0	3	2	1	0	2

◎…「目標値に到達」最新値が目標値に達しているもの ○…「順調に推移」目標値に向けて最新値が推移改善しているもの（目標値達成率8割以上）
 △…「停滞」目標値に対して最新値に遅れが生じているもの ×…「後退」最新値が基準値よりも減少しているもの

項目	指標名	単位	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	目標値 (R6)	評価 (暫定)
数値目標	合計特殊出生率(岩手県人口動態統計)	%	1.35 (H29)	1.28 (R1)	1.28 (R2)	1.36 (R3)	1.22 (R4)	1.45	×
	出生数	人	2,245 (H29)	2,004 (R1)	1,873 (R2)	1,938 (R3)	1,710 (R4)	2,184	×
	婚姻率(岩手県人口動態統計)	千人対	4.7 (H29)	4.6 (R1)	4.1 (R2)	3.9 (R3)	3.8 (R4)	4.7	×
KPI(戦略5)	いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数(各年)	組	23	13	14	12	26	25	◎
KPI(戦略6)	保育所待機児童数(各年度1月1日現在)	人	84	0	0	0	0	0	◎
	市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している感じる」と答えた市民の割合	%	19.9	23.2	19.0	20.8	17.7	50.0	×
	市民アンケートで「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	74.2	79.3	82.1	77.3	77.1	80.0	○
	子育て支援サービス利用者数	人	81,586	28,694	26,689	38,836	44,090	86,868	×

【評価（数値目標・K P I）】

- 【数値目標】「合計特殊出生率」「出生数」「婚姻率」とともに減少が続いており、少子化に歯止めがかからない状況である。出生率に影響を与えているといわれている「未婚化、晩婚化、若い世代の出生率低下、女性人口の減少」が本市でも進行している。
- 【K P I】本市も運営参画する「いきいき岩手結婚サポートセンター（県設置）」の成婚実績は目標値に達している。保育所待機児童数（1月1日時点）については、令和2年～5年の4年連続で0人を達成した。コロナ禍の影響を受け、子育て支援サービス利用者数は落ち込んだものの、「子育てを楽しんでいると感じている」親の割合は目標値に近づいているなど、各種支援策については一定の成果があるといえる。

【今後の取組の方向性】

- 結婚支援やプレコンセプションケア（妊娠前の健康管理）の取組、第2子以降の保育料の無償化や医療費助成制度による経済的負担の軽減、放課後における居場所づくり、地域での子育て情報の提供や相談援助など、今後も引き続き、全ての子ども子育て世帯をライフステージに応じて切れ目なく支援し、保護者のニーズを捉えながら施策の展開を行う必要がある。
- 少子化の進行の背景には、若年層の結婚や子育てに対する社会的・経済的な将来不安などが指摘されていることから、基本目標2で掲げる取組のほか、基本目標1で掲げる魅力ある雇用の創出や、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりなど、若年層の所得向上や将来への不安解消につながる取組を両輪で取り組む視点が必要である。

【掲載事業（R6）】

戦略	番号	事業名	担当課等
戦略5	2-5-1	いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画	子ども青少年課
戦略6	2-6-1	待機児童解消強化事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-2	私立児童福祉施設等整備助成事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-3	企業主導型保育事業の推進	子育てあんしん課
戦略6	2-6-4	私立児童福祉施設等運営事業	こども家庭センター
戦略6	2-6-4	私立児童福祉施設等運営事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-5	保育所管理運営事業【◇】	子育てあんしん課
戦略6	2-6-6	特別保育事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-7	地域児童クラブ運営事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-8	放課後児童健全育成事業実施施設整備補助事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-9	児童館管理運営事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-10	児童館整備事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-11	医療費給付事業（妊産婦、乳幼児、小学生、中学生、高校生等）	医療助成年金課
戦略6	2-6-12	母子保健事業	母子健康課
戦略6	2-6-13	産婦健康診査事業	母子健康課
戦略6	2-6-14	産後ケア事業	母子健康課
戦略6	2-6-15	新生児聴覚検査事業	母子健康課
戦略6	2-6-16	乳幼児健康診査事業	母子健康課
戦略6	2-6-17	小児救急輪番制病院事業【◎】	企画総務課
戦略6	2-6-18	地域における子育てサロン支援事業	こども家庭センター
戦略6	2-6-19	地域子育て支援センター事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-20	赤ちゃんの駅設置事業	子ども青少年課

戦略	番号	事業名	担当課等
戦略6	2-6-21	乳児家庭全戸訪問等事業	母子健康課
戦略6	2-6-22	公民館による子育て関連講座	生涯学習課（公民館計）
戦略6	2-6-23	空き家バンク制度の普及	都市計画課
戦略6	2-6-24	子どもに安心して教育を受けさせるための取組	学務教職員課、学校教育課
戦略6	2-6-25	妊婦子育て支援事業	こども家庭センター
戦略6	2-6-26	子どもの貧困対策推進事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-27	こども家庭支援事業	こども家庭センター
戦略6	2-6-28	子育て世帯訪問支援事業	こども家庭センター
戦略6	2-6-29	子育て支援員等研修事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-30	認定こども園等運営費給付事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-31	子育て応援プラザ運営事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-32	子ども未来基金事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-33	保育士確保対策事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-34	不妊に悩む方への特定治療支援事業	母子健康課
戦略6	2-6-35	予防接種事業	指導予防課
戦略6	2-6-36	就学援助事業	学務教職員課
戦略6	2-6-37	保育所等副食費助成事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-38	第2子以降の保育料の無償化事業	子育てあんしん課
戦略6	2-6-39	余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業	子ども青少年課
戦略6	2-6-40	子ども・子育て情報発信事業【◇】	子ども青少年課
戦略6	2-6-41	出産・子育て応援交付金等事業	母子健康課
戦略6	2-6-42	こども食堂支援事業	子ども青少年課
戦略6	検討	つどいの広場管理運営事業	子ども青少年課

＜凡例＞

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

◆…地方創生の交付金を活用

基本目標3 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上

- 戦略7 関係人口・交流人口の増加
- 戦略8 地元への愛着の形成、移住・定住の促進
- 戦略9 都市機能の強化

数値目標の達成状況				K P I の達成状況			
◎	○	△	×	◎	○	△	×
0	0	0	2	3	2	1	1

◎…「目標値に到達」最新値が目標値に達しているもの ○…「順調に推移」目標値に向けて最新値が推移改善しているもの（目標値達成率8割以上）
 △…「停滞」目標値に対して最新値に遅れが生じているもの ×…「後退」最新値が基準値よりも減少しているもの

項目	指標名	単位	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	目標値 (R6)	評価 (暫定)
数値目標	20歳から39歳までの人口移動数	人	△ 395	△ 330	△135	△ 419	△663	0	×
	観光客入込数	万人回	508	324	310	370	430	530	×
KPI(戦略7)	宿泊観光客数	万人泊	99	66	68	91	107	115	○
	外国人観光客入込数	万人泊	5.0	1.0	0.4	0.7	6.5	15.0	△
	ふるさと納税件数	人	1,797	5,875	6,890	10,294	8,770	4,500	◎
KPI(戦略8)	UIターン相談件数	件	164	153	202	265	402	300	◎
	移住支援金を活用して移住した件数(各年)	件	0	4	8	20	32	11	◎
KPI(戦略9)	1日あたりのバス・鉄道利用者数	人	75,827	72,769	52,265	51,311	55,205	74,600	×
	宿泊観光客数(再掲)	万人泊	99	66	68	91	107	115	○

【評価（数値目標・K P I）】

- 【数値目標】「20歳から39歳までの人口移動数」は、コロナ禍の影響を受け令和3年度を中心に転出超過数が一時的に減少したが、その後は東京圏や宮城県などを中心に、コロナ禍前よりも転出超過が拡大している。「観光客入込数」は、コロナ禍の影響を大きく受け、数値目標には届かなかったものの、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に本市が選出されたことを契機に、国内外への積極的なプロモーションや観光客等の受入態勢の強化を進め、観光客の回復につなげることができた。
- 【K P I】令和5年度の「宿泊観光客数」は107万人泊と、コロナ禍前の基準を上回り、「UIターン相談件数」は、402件と過去最高を記録した。「1日当たりのバス・鉄道利用者数」は、コロナ禍により大幅に減少したものの、徐々に回復傾向にある。

【今後の取組の方向性】

- ニューヨーク・タイムズ紙掲載効果やコロナ禍からの回復により、宿泊観光客数や外国人観光客数の拡大、移住相談件数や移住支援金の支給者数が増加傾向であることから、今後も引き続き観光客受入体制の整備及び誘客宣伝活動、シティプロモーションや移住定住の促進、関係人口の拡大などに取り組み、本市が住みたいまち・訪れたいまち・関わりたいまちとなる取組を拡大させる必要がある。
- 利用者が減少し、公共交通事業者の経営は厳しい状況にある中において、公共交通機関の維持存続を図りつつ、利用促進策に更に取り組む必要がある。また、デジタルの力を活用した地域課題解決の取組なども加速させ、人口規模が縮小しても社会が機能する持続可能なまちづくりを進め

【掲載事業（R6）】

戦略	番号	事業名	担当課等
戦略7	3-7-1	シティプロモーションの推進(アウタープロモーション)【◇】	都市戦略室
戦略7	3-7-2	スポーツ・ツーリズムの推進(スポーツツーリズム)【◎】	スポーツ推進課
戦略7	3-7-3	盛岡芸妓育成事業	観光課
戦略7	3-7-4	外国人観光客誘致推進事業	観光課
戦略7	3-7-5	教育旅行誘致推進事業	観光課
戦略7	3-7-6	開運橋魅力向上事業	観光課
戦略7	3-7-7	観光プロモーション事業	観光課、ものづくり推進課
戦略7	3-7-8	祭り・イベント振興事業	観光課
戦略7	3-7-9	MICE誘致推進事業	観光課
戦略7	3-7-10	広域観光推進事業	観光課
戦略7	3-7-11	いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への参画	公園みどり課
戦略7	3-7-12	ふるさと納税制度の普及【◇】	都市戦略室
戦略7	3-7-13	大型観光キャンペーン事業	観光課
戦略7	3-7-14	総合交流ターミナル機能拡充事業	産業振興課
戦略7	3-7-15	盛岡ファン・コミュニティの活動支援・環境整備【◇】	都市戦略室
戦略7	3-7-16	関係人口等と地域課題のマッチング支援等	都市戦略室
戦略7	3-7-17	サクラパーク姫神を拠点とした桜の名所づくり	産業振興課
戦略7	3-7-18	盛岡地区かわまちづくり事業	公園みどり課、まちなか未来創生室
戦略7	3-7-19	地域活性化起業人活用事業【◇】	都市戦略室
戦略7	3-7-20	歴史的建造物等の保全と継承	環境企画課
戦略7	3-7-20	歴史的建造物等の保全と継承	歴史文化課
戦略7	3-7-20	歴史的建造物等の保全と継承	中央公民館

戦略	番号	事業名	担当課等
戦略7	検討	若者をひきつける都市の調査・研究	都市戦略室
戦略7	検討	県外企業・大学を対象とした関係人口創出事業	都市戦略室
戦略8	3-8-1	地域おこし協力隊活用事業【◎】	企画調整課、都市戦略室、農政課、産業振
戦略8	3-8-2	官民連携による移住・交流を促進するための拠点の整備	都市戦略室
戦略8	3-8-3	お試し居住事業(盛岡広域移住・定住促進事業を含む。)(◎)	都市戦略室
戦略8	3-8-4	移住・定住の促進に係るプロモーション【◇】	都市戦略室
戦略8	3-8-5	定住化対策空き家利用促進事業	都市計画課
戦略8	3-8-6	シティプロモーションの推進(インナープロモーション)【◇】	都市戦略室
戦略8	3-8-7	移住・就労マッチング支援事業(再掲)【◇】	都市戦略室
戦略8	3-8-8	高校生等を中心とした地域課題解決・愛郷心の形成	都市戦略室
戦略8	3-8-9	商業・サービス業魅力発信事業	経済企画課
戦略9	3-9-1	中枢中核都市機能の強化に係る調査研究【◇】	都市戦略室
戦略9	3-9-2	デジタル化による未来社会の創生【◇】	都市戦略室
戦略9	3-9-3	地方創生SDGs推進に係る調査研究【◎】	都市戦略室
戦略9	3-9-4	盛岡市動物公園再生事業	公園みどり課
戦略9	3-9-5	スポーツ・ツーリズムの推進【◎】	スポーツ推進課
戦略9	3-9-6	地域公共交通サービス向上支援事業【◇】	交通政策課
戦略9	3-9-7	まちなかウォークブル推進事業	まちなか未来創生室
戦略9	3-9-8	AIを活用した人流分析システム整備【◇】	経済企画課
戦略9	3-9-9	気候変動対策実行計画推進事業	環境企画課

<凡例>

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業

【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用

◆…地方創生の交付金を活用

1 趣旨

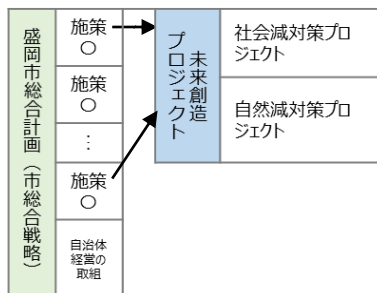
本市の将来に大きな影響を与える人口減少を市政における喫緊の重要課題として捉え、施策横断的に人口対策に取り組む必要があることから本市の人口対策である「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を、本市の最上位計画である「盛岡市総合計画（以下「総合計画」という。）」の次期計画に統合し、一体的・重点的に取り組もうとするものである。

2 次期総合戦略の構成

(1) 全体構成

市の全ての施策が人口対策・地方創生に関連する観点から、総合計画そのものを総合戦略として位置付ける。

さらに、特に注力する取組を「未来創造プロジェクト」として推進する。



(2) 計画(戦略) 期間

令和7（2025）年度～令和16（2034）年度

（ローリング方式による見直しにより、毎年度向こう3か年の実施計画を策定）



(3) 地域ビジョン（目指すべき理想像）・目標・数値目標・KPI

「まち・ひと・しごと創生法」や国の手引き等で定める地方版総合戦略に盛り込むべき項目については、いずれも次期総合計画で定めた項目と同一のものとする。

総合戦略項目	次期総合計画での対応項目
地域ビジョン（目指すべき理想像）	○共に目指す将来像 「輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡」 本市がまちづくりに生かしてきた、様々な魅力や価値を磨き上げ、更に輝かせるとともに、より強く元気な地元経済を創り、本市に更なる活力をもたらし、満たす取組を通じて、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、市民の誰もが希望する未来を描き、自らの夢をかなえることのできるまちを、まちづくりに関わるすべての主体と共に目指そうとするものです。
目標	○4つの基本目標 (1)基本目標1 豊かな地域資源が活力を生み出すまちづくり （商工業の振興、農林業の振興、雇用対策の充実、魅力の創造・発信、観光の振興 外） (2)基本目標2 人を育み未来を選べるまちづくり （子ども・若者への支援、子どもの教育の充実 外） (3)基本目標3 人がいきいきとつながり支え合うまちづくり （健康づくり・医療の充実、地域コミュニティの維持・活性化 外） (4)基本目標4 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり （安全・安心な暮らしの確保、交通環境の構築 外） （その他、「自治体経営の取組」として「市民参画や協働によるまちづくり」「持続可能な財政運営の実現」「信頼性の高い市政の確立」「自律した自治体経営の推進」「行政サービスの向上と事務の効率化の推進」）
数値目標・KPI	施策達成度…施策を構成する「小施策達成度」の平均値（数値目標に相当。） 小施策達成度…小施策指標の達成度の平均値(KPIに相当) 小施策指標…各小施策ごとの指標の目標値を設定、進捗状況に応じ100点満点で点数化(KPIに相当)

（４）「未来創造プロジェクト」について

人口対策に係る重点的・施策横断的な取組について、「未来創造プロジェクト」として、総合計画に位置付けて推進する。

令和７年度から９年度までの３か年は、社会減対策として、雇用の場の創出、移住定住、交流人口の増加などに注力し、その成果を踏まえ、自然減対策として、安心して産み育てられる環境づくりに取り組み、生産年齢人口及び若年人口の減少に歯止めをかけ、急速に進行する少子化と人口減少の緩和・抑制を目指す。

ア 社会減対策

「働きたい・住みたい・行ってみたいまち創造プロジェクト」

<取組の方向性>

雇用・所得などの経済状況に直結する課題の解決を図ることで、若者をはじめとする生産年齢人口を増やす取組を進める。

<期待する効果>

希望する職業を選択できる産業構造へ転換することで、仙台市や東京圏へ労働者が流出することを抑制するとともに、本市の魅力を創造・発信し、交流人口の増加による市内経済の活性化や、若者をはじめとする移住定住者の増加を目指す。

<重点施策>

施策１ 商工業の振興、施策２ 農林業の振興、施策３ 雇用対策の充実、施策４ 魅力の創造・発信、施策５ 観光の振興、施策７ 子ども・若者への支援、施策１４ 高齢者福祉の充実

イ 自然減対策

「夢を持ち喜びを感じられる子育て応援プロジェクト」

<取組の方向性>

複雑化・多様化する子育てに関する課題の解決を図ることで、安心して子育てができる環境を創出する取組を進める。

<期待する効果>

結婚・妊娠・出産・子育てへの不安をなくし、合計特殊出生率の減少に歯止めをかけ、少子化進行の緩和を目指す。

<重点施策>

施策７ 子ども・若者への支援

- ・運用…構成する事業を毎年度見直し、弾力的で効果的な運用を図る。
- ・取組期間…概ね３年間とする。

３ 進捗管理

（１）推進体制

進捗管理については、次の体制で行うものとする。

ア 内部組織

人口対策本部は、総合計画委員会へ役割を移すものとする。

総合計画委員会に専門部会として社会減対策と自然減対策の部会を設置する。

イ 外部組織

「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」は、盛岡市総合計画審議会へ役割を移すものとする。

産学官金労言の分野から人口対策に関連する有識者等３～４名の委員を新たに委嘱して、従来の総合計画の取組に加え、市の取組に対して意見・提言を行う組織とする。

（２）成果指標と評価

進捗管理は行政評価によって行うこととし、２５の各施策で設定した８１の小施策ごとの成果指標を用いて評価することとし、各指標の達成度の平均値を施策達成度として数値化する。

４ 国の支援措置の活用

地方版総合戦略に位置付けられている事業は、国の認定（地域再生計画）を受けることにより、国の様々な支援措置を活用することができる。

総合戦略と総合計画の統合により、これまで以上に幅広い施策に活用が可能となることから、庁内の積極的な活用を促すこととする。

（市長公室において、次の支援措置に係る地域再生計画を認定申請中）

（１）新しい地方経済・生活環境創生交付金（新地方創生交付金）

ア ソフト事業（旧地方創生推進タイプ）

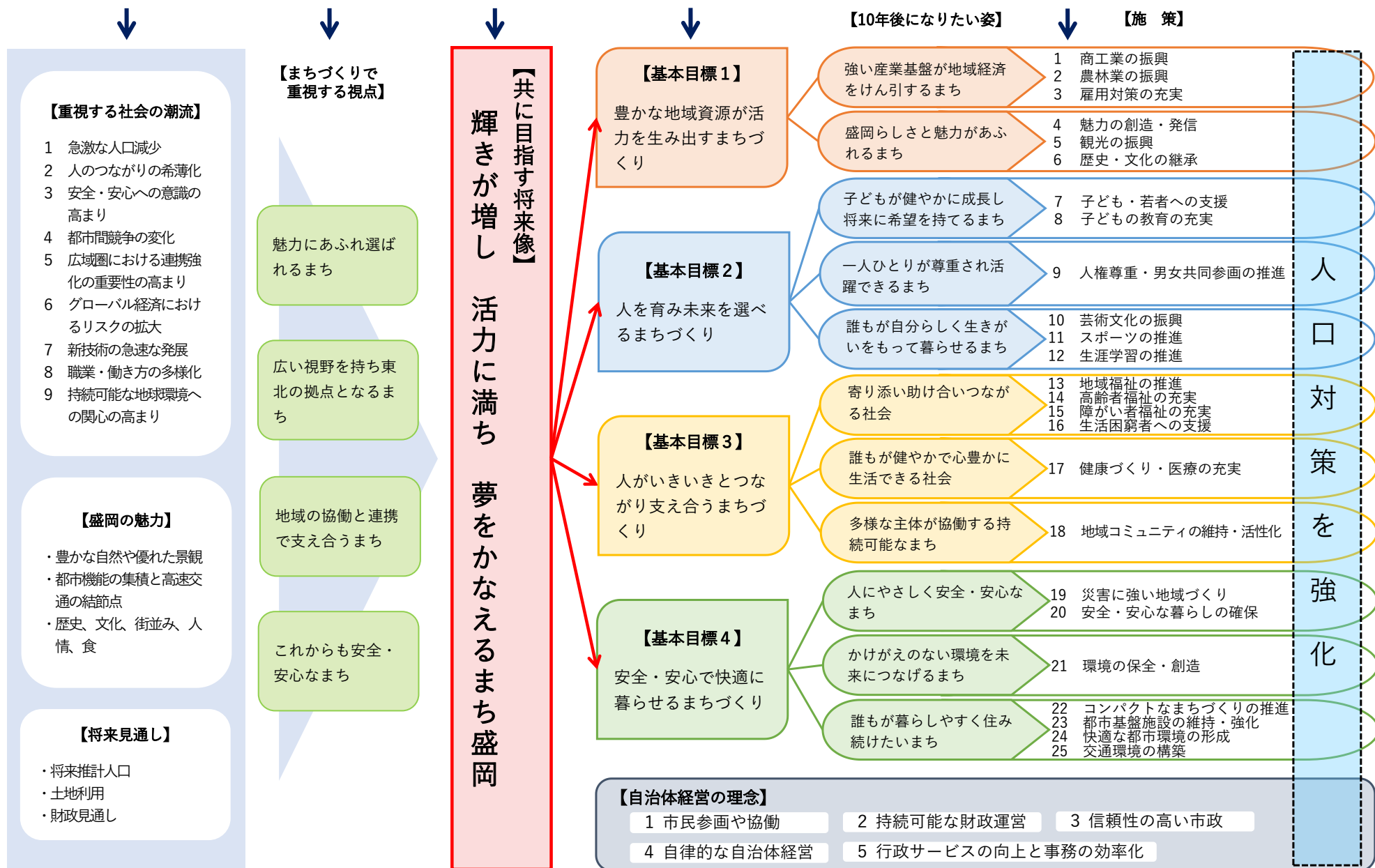
イ ハード事業（旧地方創生拠点整備タイプ、インフラ整備事業）

（２）企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対して企業が寄附した場合に、法人関係税から税額控除となる制度で、令和９年度まで制度が延長した。市長公室において、企業と本市事業のマッチング支援も実施している。

次期盛岡市総合計画基本構想の体系図

現行計画の成果と課題・市民参画の取組結果等（まちづくりに対する市民の声等）



１ 改定趣旨

盛岡市人口ビジョンは、本市の人口の現状と人口の将来展望を示すために策定しており、本市の人口対策である盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定等に向けた基礎資料としても活用するため、平成27（2015）年度の初版以降、総合戦略の改定等のタイミングに併せて改定を行ってきた。

今般、令和6（2024）年度末で計画期間を終える総合戦略が改定*となることに併せて、最新の人口動態や将来人口推計を盛り込むなど所要の改正を行うものである。

（*次期総合戦略は、盛岡市総合計画（令和7（2025）年度～令和16（2034）年度）に位置付けられる予定）

【参考】盛岡市人口ビジョンの策定・改定履歴

- ・平成27（2015）年10月
- ・令和2（2020）年3月
- ・令和5（2023）年3月（2020国勢調査結果反映）

２ 「盛岡市人口ビジョン（令和7（2025）年3月）（案）」の概要

（１）主な掲載内容

詳細は「資料1」のとおり。（新旧対照表は次ページ）

- ア 人口動態
（総人口の長期的推移、年齢三区分別人口の推移、自然増減・社会増減の推移、転入者・転出者・出生者・死亡者数の推移、地域別の人口構成 等）
- イ 自然動態
（合計特殊出生率、婚姻率、初婚年齢、出生数と母の年齢、未婚率と有配偶出生率、15歳から49歳の女性人口の推移 等）
- ウ 社会動態
（年齢別・男女別・地域ブロック別の社会増減の内訳、産業別従事者数の状況 等）
- エ 意識調査
（転入者・転出者の異動理由、県外への転出した理由）
- オ 人口減少の課題
（人口減少が地域の将来に与える影響、本市の人口動態の現状と課題のまとめ）
- カ 人口の将来展望
（実人口と推計人口の比較、将来人口推計（総合計画基本構想））

（２）主な改定点

- ア 本市の現状と課題をより把握可能とするため、5年に1度の国勢調査に加え、可能な限り毎年早期に把握できる統計情報を活用し反映した。
- イ 人口の社会増減・自然増減の具体的な状況をより明瞭かつ簡潔に把握できるようにするため、人口増減に直接的な影響を与える「人口変動の三要素（出生・死亡・移動（転入・転出）」を中心した項目で、国の手引き*を参考としながら再構成を行った。（*地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き）
- ウ 社会増減の具体的な理由や課題を端的に把握できるようにするため、意識調査結果から要点を抜粋して掲載し、意識調査報告書等本文は別に掲載することとした。
- エ 本市の目指す人口の将来展望（目標値）をより明確に示すため、従来複数パターンで行っていた将来人口推計を、総合計画基本構想で示す将来人口推計に一本化した。
- オ 施策説明資料や市民向け出前講座などの資料にも広く活用し、より多くの市民や事業者と現状と課題を共有できるようにするため、掲載項目を厳選した上で総ページ数を縮減し軽量化したほか、仕様をA4タテ版からA4ヨコ版に変更し、印刷利用に加えて、スライド投影にも対応可能となるようにした。

３ 今後のスケジュール

令和7年2月19日（水）	盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
3月	市長決裁
	盛岡市ホームページに掲載

○新旧対照表

★…新規項目 ☆…拡充項目（従来項目に追加等） ―…国手引き掲載項目

新（盛岡市人口ビジョン（令和7年3月版）（案）） 本編25ページ	旧（盛岡市人口ビジョン（令和5年3月更新版）） 本編44ページ
1 人口動態 1-1 <u>総人口の長期的推移</u> ☆ 1-2 <u>年齢3区分別人口の推移</u> ☆ 1-3 <u>自然増減・社会増減の推移①（日本人住民★）</u> 1-4 <u>自然増減・社会増減の推移②（外国人住民★・総数☆）</u> 1-5 <u>転入者・転出者・出生者・死亡者数の推移①（日本人住民★）</u> 1-6 <u>転入者・転出者・出生者・死亡者数の推移②（外国人住民★・総数）</u> 1-7 <u>自然増減・社会増減が人口に与えた影響（散布図）★</u> 1-8 地区別の人口増減 2 自然動態 2-1 <u>合計特殊出生率の推移</u> 2-2 婚姻率・初婚年齢・出生数と母の年齢・未婚率と有配偶出生率☆ 2-3 女性人口の推移（15歳～49歳）☆ 2-4 死亡率の推移★ 3 社会動態 3-1 <u>年齢階級別純移動数の時系列分析★</u> 3-2 <u>年齢別・地域別（県内・県外）の社会増減の内訳</u> 3-3 地域ブロック別の社会増減の内訳①（男女別） 3-4 地域ブロック別の社会増減の内訳②（年代・男女別）★ 3-5 産業別従事者数の状況 4 意識調査 4-1 転入者・転出者の異動理由☆ 4-2 <u>県外へ転出した理由（盛岡市・岩手県立大学地域協働研究）☆</u> 5 人口減少の課題 5-1 人口減少が地域の将来に与える影響 （経済・産業・医療・介護・福祉・都市機能・地域コミュニティ・空き家増加による生活環境・教育・地域文化・行財政） 5-2 本市の人口動態の現状と課題（まとめ）☆ 6 人口の将来展望 6-1 盛岡市の実人口と推計人口（社人研）の比較★ 6-2 <u>将来人口推計①（総人口）</u> （盛岡市総合計画基本構想）☆ 6-3 <u>将来人口推計②（年齢区分別人口構成）</u> （盛岡市総合計画基本構想）☆	第1章 盛岡市の人口の現状 1 本市の人口の長期的推移 2 国勢調査結果による人口の概況 3 人口動態の推移 4 年齢3区分別人口の推移 5 世帯数の推移 6 地区別の人口増減 7 東北の主要都市との比較 8 自然動態 （出生者数・死亡者数、合計特殊出生率・初婚年齢・未婚率・婚姻率・女性人口の推移、年齢別出生数、出産順位別出生者数 等） 9 社会動態 （転入・転出者数、年齢別地域別社会移動の状況、移動地域別社会移動、盛岡市人口移動理由実態調査（2009年）、盛岡市まちづくり研究所研究資料（有効求人倍率と社会移動、所定内給与額と社会移動、広域居住者と転出者が就業している産業の違い、基盤・非基盤産業比率、産業別従事者数 等） 第2章 人口の変化が地域の将来に与える影響 （経済・産業・医療・介護・福祉・都市機能・地域コミュニティ・空き家増加による生活環境・教育・地域文化・財政） 第3章 人口の将来展望 1 本市の人口動態の特徴 2 人口対策の基本的視点 3 人口の展望 4 将来人口の推計 資料編（38ページ） 1 U I J ターンに係る意識調査結果（平成27年） 2 結婚・出産等に係る意識調査結果（平成27年） 3 新しい総合計画策定に向けたアンケート調査（平成25年） 4 町字別の人口増減の変化（令和2年）